

| No | 名前 | 所属先 | 作品タイトル |
|----|--------|-----------|---|
| 1 | 大崎 真幸 | 神戸大学 | カバタの共同利用コミュニティ |
| 2 | 井上 莉沙 | 法政大学大学院 | 〇〇人の演者たち-本を生業う産業ネットワークのゆくえ- |
| 3 | 廣川 大樹 | 工学院大学 | 都市の仮面劇場 |
| 4 | 野尻 勇気 | 多摩美術大学 | 連なる風景の先に -非日常であり、象徴的な佇まいを持つ建築の可能性- |
| 5 | 内田 俊太 | 明治大学 | 共鳴する輪郭 -断片の振動から都市の変遷を描く- |
| 6 | 藤野 純也 | 日本大学大学院 | 曳山を留める -小江戸の弁天横町を息づかす- |
| 7 | 田口 周弥 | 日本大学大学院 | 浦島の伝承記 -子安浜におけるバラック集落更新の物語- |
| 8 | 西川 雄斗 | 芝浦工業大学 | 開き・繋ぐ場～白山通りと巣鴨地蔵通り商店街をつなぐコミュニティ空間の設計～ |
| 9 | 山田 将弘 | 早稲田大学 | スラム自立更新システムの構築 ～フィリピン・セブ市・ロレガ地区を対象として～ |
| 10 | 川添 浩輝 | 神戸大学 | 都市空間につながる水辺の再構築 |
| 11 | 新島 祐介 | 京都工芸繊維大学 | 不確かな骨格 |
| 12 | 海野 美帆 | 前橋工科大学 | 和庭-Nikiniwa- ～穏やかに繋がる新たな分譲住宅～ |
| 13 | 小松 彩乃 | 東京理科大学大学院 | 関内コモン・ファクトリー |
| 14 | 高橋 杏奈 | 滋賀県立大学 | 山村集落の終わらせ方取扱説明書 -滋賀県米原市甲津原をケーススタディーとして- |
| 15 | 砂川 良太 | 早稲田大学 | 海へのまなざしの修復 ～アジアへと通じる伝統文化と生活のための建築～ |
| 16 | 斉藤 知真 | 信州大学 | 鯉巡る町 |
| 17 | 鈴木 遼太 | 明治大学 | たとえば基準線にかさぶたを |
| 18 | 石田 卓也 | 横浜国立大学 | 裏山風呂暮らし ～郊外のシーンをつないでいく建築～ |
| 19 | 早坂 覚啓 | 明治大学大学院 | 小さな際とゆらぐまち -小さな隙間への設計介入行為- |
| 20 | 小田島 立宜 | 日本大学 | 街を編む縁廊 -蔵前における地域開放型積層小学校の提案- |
| 21 | 清水 大夢 | 明治大学大学院 | 捲土重来 -段階的ブラウンフィールド再開発プロジェクト- |
| 22 | 大野 竜 | 明治大学 | 崩成する領域 -蠢き輻湊するモノたち- |
| 23 | 張 慧聡 | 日本女子大学 | 「家庭・木」～中国伝統住宅四合院から現代集合住宅へ |
| 24 | 秋元 優介 | 芝浦工業大学 | 四ツ谷駅外濠博物館 -江戸の歴史的地形を体験する土木的建築- |
| 25 | 小野 智也 | 芝浦工業大学 | 染めゆくは行方～伝統工芸から考える新しい街の在り方～ |
| 26 | 高岩 愛実 | 明治大学 | 彼らのトドマリの場 |
| 27 | 灰野 大樹 | 明治大学 | 群像再建-連鎖する小さな群れ- |
| 28 | 難波 宏堯 | 関西学院大学 | URBAN MOBILITY STATION |
| 29 | 喜納 健心 | 名古屋市立大学 | 名古屋計画-2026 ～都市ヴォイドによる更新～ |
| 30 | 藤川 瑞生 | 芝浦工業大学 | 凧とバベル |
| 31 | 板倉 知也 | 愛知工業大学 | 表裏の再構築-リニア中央新幹線開通によって奪われる名古屋駅西の表裏を解体し再構築する- |
| 32 | 五十嵐 大規 | 明治大学大学院 | 咲きつづく町 ～河津桜と共に成る包括的な洪水対策～ |
| 33 | 内田 早紀 | 芝浦工業大学 | 縁を紡ぐ ～移動巡回型サービスを用いたバス停の設計 |
| 34 | 加藤 昂馬 | 関東学院大学 | 感覚的都市 -一人の心で描く、日本都市の行方- |
| 35 | 神谷 柊羽 | 秋田県立大学 | 秋田犬と育つまち～秋田犬と育つソーシャルアパートメント～ |
| 36 | 福田 晟丸 | 九州大学 | Backyard Stairs |
| 37 | 前原 凌平 | 高知工科大学 | 播州の塔 -兵庫県姫路市本町68番地における新たな播州人の居場所- |
| 38 | 岩田 周也 | 東北大学 | 最後の城の幻影 -現代都市における近世城郭の再編- |
| 39 | 小林 大介 | 慶應義塾大学大学院 | Action!-銀座を舞台にした映画の観察と都市への舞台的建築の挿入- |
| 40 | 池部 辰樹 | 明治大学 | バンコクにおける運河沿いのスラムの再開発手法の提案 |
| 41 | 島田 真純 | 東海大学 | シモキタ守変 ～不変と可変の均衡を保つ設計手法の提案～ |
| 42 | 福井 靖範 | 近畿大学 | 街路ネットワークを活かした塀と蔵とアートによる木密エリア再編の提案 |
| 43 | 田丸 文菜 | 多摩美術大学 | 慈雨-雨の恵みと暮らすということ- |
| 44 | 伊藤 公人 | 明治大学 | 流転する全体性-名もなき民家と許容されるキメラ- |
| 45 | 中野 翔太 | 京都工芸繊維大学 | 来し方行く末に何をみますか-弁天横丁で紡がれる物語 |
| 46 | 原 良輔 | 九州大学 | 神秘なる邪魔者-竹建築辞書を用いた里山再興- |
| 47 | 齊藤 有生 | 芝浦工業大学大学院 | 声をあつめて更新される手賀沼の「風景」——協働設計を通じたメディア的建築の実践と考察 |
| 48 | 横山 俊輔 | 東京農業大学大学院 | 彩り展かれる細道 |
| 49 | 池田 慎太郎 | 九州大学 | mediation of public space 共存方法としての壁 |
| 50 | 幸地 隆樹 | 日本文理大学 | アメラジアンスクール ～社交の街から交流の街へ～ |